

Japan Digital Business Strategies (Japanese Version)

AN IDC CONTINUOUS INTELLIGENCE SERVICE

あらゆる企業がビジネスそのものを変革し、デジタル最優先の持続可能なビジネスモデルを構築することが求められる「デジタルファースト」の時代が訪れつつある中、従来の IT バイヤー（企業）と IT サプライヤー（ベンダー）の双方に、これまでとは異なる戦略策定のアプローチ、人材育成、組織作りなどが急務となっています。また、これに応じて国内サービス市場では、技術を駆使して顧客の持続可能なデジタルビジネス（DB）に伴走するためのサービス（DB 支援サービス）が発展期を迎えています。IDC Japan 年間情報提供サービス Japan Digital Business Strategies (Japanese Version)は、日本企業のデジタルビジネス戦略やその進捗状況、推進に向けた課題／阻害要因を分析するとともに、国内の DB 支援サービス市場における各プレイヤーの動向、顧客企業の DB を実現するための多様な関連サービス市場の予測を行います。2024 年は、DB を駆動するイノベーション支援と、ビジネスの aaS 化に関するレポートを強化予定です。

Markets and Subjects Analyzed

- 国内企業の DB の動向や意識
- DB の実践分野と事例
- DB 支援サービス市場の需要動向
- DB 推進のための人材育成の在り方
- IT サプライヤーの動向（自身の DB 化を含む）
- DB を支援する多様な支援サービスの市場動向

Core Research

- IDC FutureScape: Worldwide Digital Business Strategies 2024 Predictions - Japan Implications
- DB 支援サービス市場予測
- DB を支援する IT サプライヤーの動向調査
- 国内企業の DB 動向調査（世界との比較）
- DevOps 支援／内製化支援サービスの動向
- Business Analytics／AI 支援、CX 関連サービス市場動向

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan Digital Business Strategies \(Japanese Version\)](#).

Key Questions Answered

- 国内企業の DB の実現に向けた課題は？
- デジタルビジネス成功企業はどのように課題を克服しているか？
- 顧客企業が変革を実現しデジタルビジネスを展開するために必要なサービスとは何か？
- DB 支援サービスにおける IT サプライヤーのビジネス機会は？
- DB 支援サービスの需要とは何か？

Companies Analyzed

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較／分析を行います（アルファベット順、50 音順）。

AWS, BCG, EY, HPE, IBM, KPMG, NEC, NTT データ、NTT コミュニケーションズ、PwC, SAP, SCSK, TIS, アクセンチュア、伊藤忠テクノソリューションズ、グーグル、デロイト、東芝デジタルソリューションズ、日鉄ソリューションズ、ビプロジー、野村総合研究所、日立製作所、富士通、その他